

おうみ路

2025年度
事業活動 報告書



2025年

4月	●春の全国交通安全運動オープニング式・交通安全びわ湖キャラバン隊出発式の開催 … 3
	●滋賀県高速隊出陣式…………… 3
	●ドライバー研修会の開催…………… 14
	○春の全国交通安全運動に係る啓発活動の実施【多賀SA、草津PA、賤ヶ岳SA】
5月	●貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク)申請案内説明会の開催…………… 4
	●通常総会の開催…………… 4
	●第14回エコ・セーフティドライブコンテストの開催…………… 5
	●ドライバー研修会の開催…………… 14
6月	●運輸安全マネジメントセミナーの開催…………… 5
	●車輪脱落事故防止に係る打合せ会議…………… 5
	●議員要望聴取…………… 7
	●物流改正法説明会の開催…………… 7
	●ドライバー研修会の開催…………… 14
7月	●物流改正法説明会の開催…………… 7
	●運行管理者国家試験事前勉強会の開催…………… 7
	●おうみ路クリーンアップ活動の開催…………… 8
	●ドライバー研修会の開催…………… 14
8月	●経営者・管理職研修会の開催…………… 13
	○夏の全国交通安全運動に係る啓発活動の実施【多賀SA】
	○運行管理者国家試験の実施
9月	○運行管理者国家試験の実施
	●物流出前講座の開催【高島高校・安曇川高校】…………… 11
	●経営者・管理職研修会の開催…………… 13
	○秋の全国交通安全運動に係る啓発活動の実施 【草津PA、土山SA、鈴鹿SA、賤ヶ岳SA、多賀SA、】

●は記事紹介
○は事業紹介のみ



滋賀にキラリ輝く 七つ星事業

滋賀県トラック協会と滋賀県バス協会が、業界を取り巻く環境をより良くする目的で協議を重ね、滋賀県とタイアップして展開していく7つの事業を策定しました。そして、平成27年4月9日に、田中亨会長(当時)と滋賀県バス協会の中村隆司会長(当時)から三日月大造滋賀県知事に対して提言されました。

「いきる」バス・トラック事故の削減

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| ①「交通事故削減宣言」と交通事故削減目標の設定 | ⑥「物流セミナーの開催」 |
| ②「滋賀県交通安全フェア」の開催 | ⑦経営者・管理職研修会の開催 |
| ③事業用自動車無事故・無違反運動の実施 | ⑧交通安全ニュース等の作成・配布 |
| ④ドライバー研修会の開催 | ⑨グッドラーニングを活用した
初任運転者研修の実施 |
| ⑤「エコ・セーフティドライブコンテスト」の開催 | ⑩事故防止啓発品の配布等 |

「うごく」交通安全PR活動・道路環境改善提案活動

- | | |
|------------------------------|------------------|
| ①各種交通安全運動の取り組み | ⑥自転車ヘルメット着用の推進 |
| ②交通安全びわ湖キャラバン隊の実施 | ⑦車輪脱落事故防止への取り組み |
| ③新入学(園)児に対する安全通学(園)街頭誘導活動の実施 | ⑧冬用タイヤ装着への取り組み |
| ④滋賀県交通安全推進大会への協力 | ⑨幹線道路等の整備促進の議員要望 |
| ⑤滋賀県老人クラブ大会への協力 | |



10月	●車輪脱落事故防止に係る打合せ会議……………	5
	●伊吹パーキングエリア清掃活動……………	8
	●トラック事業者向け労務管理説明会……………	9
	●ドライバー研修会の開催……………	14
11月	●貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク)申請案内事前説明会の開催……………	4
	●交通安全フェアの開催……………	9
	●物流セミナーの開催……………	10
	●守山学園プロフェッショナルセミナー……………	10
	●バス・トラック運転体験会及び運送事業等就職説明会……………	10
	●ドライバー研修会の開催……………	14
12月	●物流出前講座の開催【栗東高校・甲南高校・愛知高校】……………	11
	●年末の交通安全県民運動にかかる出動式……………	11
	●標準的な運賃活用セミナー……………	12
	●自民党滋賀県議会議員懇談会……………	12
	○年末の交通安全運動に係る啓発活動の実施【養老SA、多賀SA、南条SA】 ○「大型車のホイール・ボルト、ナットの増し締め点検」啓発活動	
1月	●運行管理者国家試験事前勉強会の開催……………	7
	●新年祈願祭の挙行……………	12
2月	●適正化二法・下請法改正セミナーの開催……………	13
	●経営者・管理職研修会の開催……………	13
	●運送会社向け生成AI活用セミナーの開催……………	14
	●滋賀県総合防災訓練の開催……………	14
	●ドライバー研修会の開催……………	14
	○運行管理者国家試験の実施	
3月	○運行管理者国家試験の実施	
	●ドライバー研修会の開催……………	14



働 「はたらく」

バス・トラック業界への関心を高めるキャリア教育

- ①若年者の雇用増加と若年ドライバー不足の解消(物流出前講座)
- ②滋賀運輸支局・自衛隊と連携した自動車運送業の説明会への参加
- ③滋賀県社会福祉協議会との連携
- ④働きたい女性の雇用増加と女性ドライバーの活躍

作 「つくる」 エコドライブ・環境啓発の推進

- ①ドライバー研修会エコドライブコースの開催
- ②「エコ・セーフティドライブコンテスト」の開催
- ③各種環境対策助成事業の実施

守 「まもる」 清掃・植樹事業

- ①「おうみ路クリーンアップ活動」の実施
- ②伊吹パーキングエリア清掃活動の実施

備 「そなえる」 防災対策の取り組み

- ①「災害時における人員・物資等の輸送に関する協定」の継続
- ②緊急事態に対応するトラック協会の業務計画等の作成
- ③滋賀県総合防災訓練への参加
- ④原子力防災室研修への参加による災害対応力の強化
- ⑤関西広域連合応援訓練への参加
- ⑥滋賀県防災会議への出席

広 「ひろげる」 “滋賀・琵琶湖”ブランド、観光情報の全国発信

- ①滋賀県交通安全フェアにおける地域物産の販売
- ②ラッピングトラックによる観光PR

4月

交通安全びわ湖キャラバン隊が出発

4月6日(日)から「春の全国交通安全運動」が始まるのを前に、4日(金)10時より滋賀県庁正面玄関前でオープニング式とキャラバン隊の出発式が執り行われました。

冒頭、交通事故の犠牲者に1分間の黙祷を捧げた後、東勝副知事より「県民一人一人が交通安全の意識を持ち、安心安全の滋賀県を実現したい」という三日月大造知事のメッセージが読み上げられました。

そして、滋賀県警察本部の池内久晃本部長が、「歩行者優先、ながら運転の禁止、自転車のヘルメット着用など交通安全の意識浸透に向けて、警戒活動や違反の指導等交通事故の抑止に向けてしっかり活動していきたい」と述べました。

また、佐藤健司大津市長は、「大津市交通安全条例に基づき、この運動に心を一つにして取り組み、いのちを守る為、1件でも事故が減るよう共に頑張りましょう」と呼びかけました。

その後、滋賀県交通安全協会から滋賀県内の小学一年生に交通安全の為、目立つ黄色の傘を寄贈されることを受け、贈呈式が行われ、上阪廣子会長から東勝副知事へ目録が手渡されました。

続いて、ひかり保育園の子どもたちが元気いっぱいの演奏を披露した後、安全宣言を行って、思いやり運転やシートベルト着用、歩行者優先、自転

車のヘルメット着用などを訴えました。

キャラバン隊の出発に先立ち、県民代表として滋賀県トラック協会の山下久美子さん(甲西陸運株式会社)と滋賀県タクシー協会の山岡英之さん(滋賀タクシー株式会社)が安全宣言を読み上げ、「交通ルールの厳守と運転マナーの向上」「子どもと高齢者に優しい運転」「飲酒運転の根絶」「シートベルト・チャイルドシートの着用」「環境に配慮したエコ運転の推進やノーマイカーデーの実践」を誓いました。

その後、子どもたちの演奏と拍手に送られて、白バイ隊やパトロールカー、協会の広報用トラックなどのキャラバン隊が、啓発活動を行うため次々に出発していきました。



4月

春の全国交通安全運動に向けた出発式を開催

4月6日(日)から始まる「春の全国交通安全運動」を前に、4日(金)14時30分から名神高速道路下り線の多賀SAにおいて、滋賀県高速道路交通警察隊の出動式が行われました。

高速隊の計良直之隊長が、「2024年は高速道路上での死亡事故がゼロとなったが、高速道路では重大な事故になりかねないため、悪質な運転に対する指導・取り締まり等に力を入れて1件でも事故を減らしたい」と挨拶を行いました。

続いて、滋賀県高速道路安全運転協議会会長並びに滋賀県トラック協会長の松田直樹会長が、「交通事故の話をして耳にしない日はない。高速道路上での事故は減少しているが、滋賀県内の事故は増加している。トラック協会ではこの安全運動期間中の4月10日を事業用トラックの交通事故ゼロを目指す日と定めており、トラックが第一当事者となる事故がゼロになることを目指して交通安全に努めたい。」と述べました。

その後、利用者に対して安全周知等に向けた啓発活動

を実施し、啓発品を配布しながら交通安全を呼びかけました。

そして、NEXCO中日本名古屋支社彦根保全サービスセンターの宇都宮尚史所長が、「高速道路上での死亡事故はゼロ件だったが、逆走や人の立ち入りなど重大な事故につながりかねない通報が40件あったが、対応できたのが内8件のみであった。交通安全は一つ何かをして終了ではない。一人一人が交通安全の意識を持ち続けることが重要だ。」と述べました。

また、「今年は大阪万博や国スポ・障スポがあることから高速道路を利用する機会が増えるかと思うが、交通安全に努めていただきたい」と述べました。



5月

貨物自動車運送事業安全性評価事業 (Gマーク)申請案内説明会 5月/11月

2025年度貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク)申請にあたり、適正化事業運営委員会では更なる認定事業所の増加を目的として、新規申請および更新申請を行う会員事業者を対象に「貨物自動車運送事業安全性評価事業(Gマーク)申請案内説明会」を令和7年5月16日(金)開催し、40名が参加されました。

また、余裕をもって申請書類を作成していただく事を目的として事前説明会を11月18日(火)に開催し、27名が参加されました。

2025度の認定結果を受け、滋賀県下では428事業所が認定されており、全事業所の43%、認定取得率は全国第6位となりました。

Gマーク認定制度のGは、Good「よい」またGlory「繁栄」から取ったもので、安全性に優れた事業所を認定することで、業界のレベルアップを図るとともに、荷主の皆様が取引先の目安としていただくものとなっております。



5月

令和7年度の通常総会を開催 ドライバーの地位向上を目指し前進を誓う

5月28日(水)、令和7年度の通常総会が滋賀県トラック総合会館にて開催されました。

冒頭、松田直樹会長が、「昨年の通常総会の頃は、標準的な運賃の施行が決まり、業界は良くなっていくのではという期待感が高まったが、実際には業界を取り巻く環境は去年より厳しくなっている」と述べ、「コンプライアンスを守らない事業者や、白ナンバーの横行、カスハラ問題、多重下請構造などさまざまな課題の一つひとつ解決して、大切なドライバーの地位向上に取り組み、みなさんにこの業界でやってきてよかったと思ってもらえるようにしていきたい」と力強く挨拶を行いました。

続いて行われた表彰式では、甲斐切稔前会長に感謝状が贈られたほか、従業員への表彰状の授与、全日本トラック協会表彰規定による表彰、「正しい運転・明るい輸送運動」における事業所・団体への表彰の伝達式が行われました。

そして、『全日本トラック協会ドライバーの社会的評価の向上にかかる検討委員会』の委員長を務める松田会長から坂本克己全日本トラック協会会長(役職は当時)に、『ドライバーの社会的評価の向上にかかる提言書』が手渡され、坂本会長は「ドライバーの社会的、経済的地位向上のために汗をかいてがんばってもらっている」と謝意を述べました。

続いて来賓の三日月大造知事から、「県の産業を支えるトラック業界を支援するため関係各位と連携して取り組んでいきたい」とメッセージをいただいたほか、近畿運輸局自動車交通部の河原正明次長は「対荷主も含めて物流効率化法の周知に取り組んでいきたい」と述べ、酒井敏一近畿運輸局滋賀運輸支局長からは「人材確保対策に連携して取り組み、積極

的な運賃交渉などでドライバーの賃上げを目指してほしい」という挨拶をいただきました。

また、船越剛之滋賀県警察本部交通部長からは「協会のみならずは日頃の安全運転と交通安全活動の取り組みを引き続き推進していただきたい」、多和田治彦滋賀労働局長からは「ドライバーの時間外労働を減らすためには荷主の協力が必要。問題意識を共有して働きかけを行ってほしい」ということばを頂戴しました。

そして、竹備裕二副会長を議長に選出して議題審議に入り、『令和6年度事業報告及び収支決算報告書の承認について』『令和7年度入会金の額及び納入方法について(案)』『令和7年度会費の額及び納入方法について(案)』『令和7年度事業計画及び収支予算書について(報告)』について説明・審議が行われ、拍手をもって承認されました。

また、陸上貨物運送事業労働災害防止協会滋賀県支部と滋賀県トラック運送事業政治連盟の議案審議も合わせて行われ、いずれも拍手で承認されました。



5月

第14回 エコ・セーフティドライブコンテスト 第57回 全国トラックドライバーコンテスト

令和7年5月17日(土)、クレフィール湖東にて第14回エコ・セーフティドライブコンテストおよび第57回全国トラックドライバーコンテスト選考会が開催されました。

安全環境委員会の大森正博委員長の開会宣言に続いて、丸山義広副会長が「ドライバーとして日頃やっていること、積み重ねてきたことを発揮してほしい」と選手を激励しました。

来賓の酒井敏一近畿運輸局滋賀運輸支局長、水嶋周一滋賀県総合企画部CO2ネットゼロ推進課長、小椋正清東近江市長からご挨拶をいただいた後、選手を代表してセンコー株式会社の平尾 司さんが選手宣誓を行い、競技がスタートしました。

11トン部門27名、4トン部門24名の選手は、まず学科試験に挑んでから、3つのグループに分かれて、日常点検競技、エコドライブ走行競技、セーフティドライブ走行競技に挑戦しました。

時折雨が降るあいにくの天候でしたが、選手のみなさんは優れたドライバーを認定するマイスター、ゴールドマイスター、

さらに全国トラックドライバーコンテストへの出場資格を目指して、真剣な表情で競技に取り組んでいました。

無事競技を終えた選手のみなさんからは、「事前に練習したけれど、本番では緊張して思うようにできなかった」「点検競技の動画を見てシミュレーションしたが、焦って点検し忘れた箇所があった」「大会に向けて準備したおかげで手応えを感じることができた」といった声が聞かれました。

閉会式では、クレフィール湖東交通安全研修所の澁谷尚所長がそれぞれの競技について、審査のポイントや気づいた点などを挙げて総括を行い、「ドライバーの負担が日々増している中でも、安全運転は絶対に欠かせない。みなさんの知識と技術、経験を同僚のドライバーに伝えることで業界の安全を底上げできるよう尽力してほしい」と締めくくりました。

また、4トン部門の滋賀県代表として全国トラックドライバーコンテストにご出場いただいたNX キャッシュ・ロジスティクス株式会社 京滋支店 大津センターの山内 壘選手が全国第4位という素晴らしい成績を収められました。

6月

運輸安全マネジメントセミナーの開催

適正化事業運営委員会では、運輸安全マネジメントの更なる浸透を図るため、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社のご協力を頂き、MS&ADインターリスク総研株式会社を講師にお招きし「運輸安全マネジメントセミナー」を令和7年6月3日(火)に開催し、48名の方が受講されました。

アンケート結果からは「毎年参加していて社内で取り組める内容はとても参考になる。」「やらなければいけないこととやり方が分かりやすく参考になった。」等ご好評の声を多くいただきました。



6月

車輪脱落事故防止に係る打合せ会議 6月/10月

車輪脱落事故が発生した場合、当該車両の運行を担ったドライバーや、車両を管理している使用者の責任追及が行われているのが現状だが、整備工場やタイヤ専門店などへの外注作業に伴う車輪脱落事故も散見され、外注先での作業上のミスなども事故原因となる場合もある。

こうした状況を踏まえ、昨年度に引き続き本年度も、6月17日および10月7日の2回にわたり、国土交通省、日本自動車工業会、滋賀県トラック協会による意見交換会を実施しました。

国土交通省多田善隆物流・自動車局自動車整備課長は「本打ち合わせは、トラック業界でも非常に注目されてい

る。国が進めている調査・分析検討会で行っている検証内容や、深堀りすべき項目などについて忌憚のない意見交換を行うことにより、車輪脱落事故防止に有効な対策に繋がりたい」と述べられ、松田直樹会長は「検証内容や事故原因の深堀りを通じ、ドライバーや管理者のみに全ての責任が負われないよう、構造的な問題提起や、保守管理上における車輪脱落事故原因の究明を進める必要がある。あわせて、責任の所在に関する課題についても、引き続き行政当局に提起していきたい」と強く訴えました。



選考会を開催



ゴールド囲みはゴールドマイスター

4t
部門



山内 壘
NXキャッシュ・ロジスティクス(株)



西村 将司
NXキャッシュ・ロジスティクス(株)



山崎 豊
セイノースーパーエクスプレス(株) 栗東西営業所



石森 洋介
西濃運輸(株) 彦根支店



山田 直輝
西濃運輸(株) 長浜支店



坂田 和也
センコー(株) 京滋主管支店



川崎 直哉
NXキャッシュ・ロジスティクス(株)



森口 聖也
西濃運輸(株) 滋賀支店



伴 健二郎
滋賀協同物流(株)



中西 健太
甲西陸運(株)

11t
部門



林田 哲也
西濃運輸(株) 近江営業所



坂井 秀行
(株)滋賀運送甲賀



山下 智
(株)滋賀運送甲賀



石山 大城
滋賀センコー運輸整備(株)



平山 智也
甲西陸運(株)



吉川 博文
甲西陸運(株)



平尾 司
センコー(株) 京滋主管支店



藤田 明宏
三陽輸送(株)



串畑 越治
日本梱包運輸倉庫(株)



谷口 拓朗
滋賀運送(株)



中江 裕
(株)滋賀運送電王



荒木 翔太
(株)健翔



榎 良博
モリロジ(株)



加納 正雄
モリロジ(株)



高田 雅仁
滋賀協同物流(株)

6月

令和8年度 国・県予算編成に対する要望を実施

滋賀県トラック協会及び滋賀県トラック運送事業政治連盟では、松田会長をはじめ執行部出席のもと、令和7年6月6日(金)滋賀県庁において、自由民主党滋賀県議会議員団に対し、令和8年度国・県予算編成に対する要望を行いました。

冒頭、松田会長から時間外労働上限規制等による2024年問題をはじめ、燃料価格及び物価の高騰による業界への影響と補助金及び交付金の必要性、業界の地位向上、道路整備による慢性的な渋滞の緩和を図っていただくよう挨拶をされた。

続いて事務局より(1)2024年問題解決に係る後押しについて(2)幹線道路の整備及び市町の道路網整備促進について(3)運輸事業振興助成補助金の適切な交付についての要望3項目の要点を説明し、引き続き、近年特に正面衝突事故が多発している国道

161号線において事故防止対策として中央分離帯に設置されているワイヤーロープの状況をドライブレコーダーの映像を視聴頂きながら問題点等の説明を行った。

これらの説明に対し、出席議員からは2024年問題の解決に向けた補助金の交付と併せ、経済団体への働きかけと国道161号線での問題点をはじめ県内各主要道路等の整備促進、運輸事業振興助成補助金の適切な交付を引き続き行っていきたいと発言された。



6月

物流改正法説明会の開催 6月/7月

令和7年4月に施行された物流改正法による荷主・トラック運送事業者等に対する規制の措置(書面交付の義務化、実運送管理簿の作成等)について会員事業者によりご理解いただく事を目的に、近畿運輸局および滋賀運輸支局の担当者様を講師にお招きし、物流改正法説明会を令和7年6月2日(月)、令和7年7月18日(金)に開催し、合計161名の方に参加いただきました。

説明会当日は、物流改正法の概要や改正の背景、運送

事業者および荷主に求められる対応等について説明が行われ、参加者は講師の説明に熱心に耳を傾けておられました。



7月

運行管理者試験の事前勉強会開催 7月/1月

運行管理者国家試験が実施されるにあたり、適正化事業運営委員会では資格者増加を目的として、独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)滋賀支所チーフの岡本周氏にご講義いただき、運行管理者試験の事前勉強会を令和7年7月12日(土)、令和8年1月24日(土)の計2回開

催し、合計59名の方に参加いただきました。

当日は、貨物自動車運送事業法等関係法令や運行管理者試験の過去問題等を中心に行われ、参加者は運行管理者試験の合格を目指し、熱心に取り組んでおられました。



7月

快晴に恵まれ、 「おうみ路クリーンアップ」活動を実施



7月5日(土)「おうみ路クリーンアップ活動」が実施されました

滋賀県トラック総合会館前で行われた湖南支部の出発式で、松田直樹会長は「日々トラックをキレイにしているドライバーは交通事故も少ない」と話され、「我々が仕事で利用している道路を日々の感謝を込めて清掃活動を行いたい」と挨拶されました。



来賓の中村達也琵琶湖環境部長は「「輝く」いまを、ともにいきる「健康しが2.0」として「ひとの健康」「社会・経済の健康」「自然の健康」について、中でも「自然の健康」については国民的資産である琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継いでいくことが重要であり、本日の清掃活動をはじめとした、地域の皆様のご協力が必要不可欠ですので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。」という三日月大造滋賀県知事からの祝辞を代読されました。



子どもたちも参加して道路のゴミを回収

出発式の後、参加者はそれぞれの受け持ちエリアへ移動して、歩きながら、空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などを回収しました。

快晴に恵まれ、子どもたちを含め、全7支部合わせて合計764名が参加され、事故等もなく、清掃活動を実施しました。

また、湖北支部の活動場所では衆議院議員の上野賢一郎先生がいらっしゃいました。

草津PA・多賀SAでは「黄金のペットボトル」をなくす為の啓発活動を実施

また同日、NEXCOさんにご協力いただき、「黄金のペットボトル」と呼ばれている「尿入りペットボトル」をなくす為、ポイ捨て禁止を呼びかける啓発活動も実施いたしました。

草津PAでは松田会長、竹備担当副会長、山田副会長を含む8名が参加され、多賀SAでは西村副会長、丸山副会長を含む7名が参加されました。

閉会式では、嶋崎雅康湖南支部長が参加者の皆様へ感謝の言葉と挨拶を述べられ、無事活動を終了しました。



10月

「黄金のペットボトル」回収を含む 伊吹パーキングエリアの清掃活動を実施

滋賀県トラック協会広報推進委員会では10月2日(木)伊吹パーキングエリア(上り)において、中日本高速道路株式会社 彦根保全サービスセンターと協働し、いわゆる「黄金のペットボトル」と呼ばれる尿入りペットボトルの回収を含む清掃活動を実施しました。

当日は、滋賀県トラック協会から松田直樹会長をはじめ、副会長、広報推進委員、事務局を合わせて計25名が参加しました。

活動時間が限られていたため、すべてのゴミを回収することはできませんでしたが、回収したゴミは約80袋分に上り、「黄金のペットボトル」は約300本確認されました。この状況を受け、今後の対策を検討する必要があるとの意見が

寄せられました。

松田会長は「清掃活動そのものが目的ではなく、このような行為がなくなるよう、継続的に周知を図り、モラルの向上を促していく機運を醸成することが一番の目的である」と述べました。



10月

労務管理説明会の開催



令和6年4月1日から適用となった改善基準告示の改正内容のうち、厚生労働省が発行したQ&Aの内容について要点を解説するほか、同日に適用開始となった「自動車運転者に関する時間外労働の上限規制」に適應する36協定届の作成方法について、会員事業者によりご理解いただく事を目的に、トラック事業者向け労務管理説明会を労働基準監督署、滋賀働き方改革推進支援センターの方々を講師にお招きし、10月3日(金)に滋賀県トラック総合会館にて開催され、67名が参加されました。

当日は、改善基準告示の改正内容の解説や、36協定作成時の注意事項、就業規則届の作成や届け出などの講義を、参加者は熱心に話を聞き入っておられました。



楽しい体験を通して学ぶ交通安全



第10回となる『滋賀県交通安全フェア』を開催

11月2日(日)、滋賀県トラック総合会館とその周辺を会場に、(一社)滋賀県トラック協会、(一社)滋賀県バス協会、(一社)滋賀県タクシー協会の主催による『滋賀県交通安全フェア』が開催されました。

オープニングセレモニーにおいて滋賀県交通安全フェア実行委員会会長を務める当協会の松田直樹会長が開会宣言を行い、セレモニーの冒頭、交通事故の犠牲者を悼んで黙祷を行い、主催者を代表して滋賀県の東勝副知事が、「楽しみながら学んでいただき、本日の催しで学んだ交通安全・交通ルールを実践し、みんなで交通事故のない滋賀を実現しましょう」という三日月大造滋賀県知事からのメッセージを代読されました。

ご来賓である滋賀運輸支局酒井敏一支局長、滋賀県警察船越剛之交通部長、守山市福井靖副市長からご挨拶をいただき、第14回エコ・セーフティドライブコンテストの優勝者が受賞される「近畿運輸局滋賀運輸支局長表彰」のほか、上位入賞者、マイスター認定者、滋賀県トラック協会優良事業所と優良運転者の表彰式が行われました。そして、123名、213チームの受賞者を代表して、三陽輸送株式会社の元持 司さんが「関係各位のご指導やご支援、家族の協力によって達成した無事故無違反の記録をプロドライバーとしての自覚と誇りをもってこれからも更新したい」と謝辞を述べました。

ステージでは滋賀県警察本部音楽隊や、地元の速野カナリヤこども園の園児のコンサートが行われ、子どもたちが元気に交通安全宣言を読み上げて安全運転を訴えました。

天気にも恵まれ、約6,000人が来場され、スタンプラリーや子ども交通安全教室、生命のメッセージ展、日頃の安全への取り組みを紹介する展示などが行われたほか、ナンバーワン戦隊ゴジュウジャーショーや白バイの模範走行、パトカーやトラック等の展示及び乗車体験、キッチンカー、地元の特産品の販売ブースなども出店して、たくさんの家族連れでにぎわいました。

安田大サーカスさんによる交通安全教室も行われ、フィナーレは近江牛やホテルの宿泊券などが当たる抽選会が行われて盛り上がり、今年も交通安全について家族みんなで考える意義ある一日となりました。



11月

エコノミスト門倉貴史氏を迎えて 物流セミナーを開催

令和7年11月14日(金)、びわ湖大津プリンスホテルにおいて、講師にエコノミストでBRICs経済研究所代表の門倉貴史氏を迎えて物流セミナーが開催されました。

冒頭挨拶に立った松田直樹会長は「2024年問題で輸送能力の低下が懸念されたが、1年半経って物流が止まっていないのは現場のドライバーが必死に努力しているおかげ」とし、「依然としてドライバーの賃金は低く、またカスハラ問題も深刻化している。協会ではカスハラ問題の啓発ビデオを独自に制作、これを活用して全国的に理解を求めていくなど、諸問題の解決に取り組んでいく所存である」とし、行政や荷主企業への理解と協力を求めました。

来賓を代表して、近畿運輸局の西野 光自動車交通部長と滋賀労働局の青木利彦労働基準部長が挨拶され、続いて経営支援委員会の新井成達委員長がセミナーの趣旨について説明を行いました。

門倉氏は『必ず誰かに話したくなる経済学～日本経済と物流の今後～』という演題で、不確実で将来を予測するのが困難な“VUCA（ブーカ）”の時代に、どのようにイノベーションを進めていくかについて講演を行いました。

中長期的な課題の一つである労働人口の減少を抑えるため、女性やシニア、外国人のほか就職水河期世代の活用

など、ダイバーシティ経営を進めていくことが大切であると指摘しました。

また、労働生産性の向上を図るため、曜日別のモチベーションのほか、職場の人間関係、リモートワークによる通勤時間の短縮、職場環境などの研究について紹介、物流では予約システムの導入による荷待ち時間の短縮が生産性の向上につながると述べました。

さらに、個人の視点で、今後中長期で将来に向けてどのように資産形成すればいいかについて触れ、「これから本格的なインフレに突入する日本では、デフレの時代と異なり、取れる範囲でリスクを取って、資産を分散しながらさまざまな金融商品に投資し、長期間にわたって運用することが望ましい」と述べて講演を締めくくりました。

最後に山田英樹副会長がお礼の挨拶を述べて、物流セミナーを閉会しました。

また、今回のセミナーは会員事業者が205名、荷主企業等が150名、合計355名が参加されました。



11月

守山学園プロフェッショナルセミナー

令和7年11月15日(土)児童養護施設守山学園において守山学園プロフェッショナルセミナーが行われ、滋賀県トラック協会も参加しました。

当日は、滋賀県トラック協会の松田直樹会長をはじめ、担当する経営支援委員会より株式会社マルキュー物流 新井成達委員長、エスケイ運輸株式会社 蔭山雄一郎副委員長、また大型車両を拠出いただいた清水運送株式会社 清水浩平委員が講師を務め、守山学園の学生にトラックドライバーの仕事について説明を行いました。

学生との懇談の時間も設けられ、トラック業界への理解を深めてもらう良い機会となりました。



11月

バス・トラック運転体験会 及び運送事業等就職説明会

11月28日(金)陸上自衛隊大津自動車教習所において、バス・トラック運転体験会及び運送事業等就職説明会が開催されました。

近年、運転者不足による物流への影響が危惧されていることから、退職予定の自衛官の退官後の就職先として、運輸・整備業界を選択肢の一つとしていただくとともに、運送業界等の実態がわからず不安を感じているとの声を受け、その不安の解消を目的として開催されました。

当日は、滋賀県トラック協会から日本通運株式会社、福山通運株式会社、有限会社社拾井商事が参加し、乗務体験のほか、個別就職相談会も行われました。



12月

人材の確保を目指して 「物流出前講座」を開催！ 9月/12月

滋賀にキラリ輝く七つ星事業「はたらく」の1つである「トラック業界の関心を高めるキャリア教育」にかかる事業の一環として、優秀な若手の人材確保を目的として、平成27年度より継続して実施している事業であり、本年度で11年目を迎えました。

実際のトラックを持ち込み、業界に興味を持ってもらう

本講座はまず、運送業界について知ってもらうために当協会で作成した、実際に現場で働くスタッフへのインタビュー動画を視聴してもらい、続いて「トラック輸送の社会的重要性」、「事業用トラックと自家用トラックの違い」、「災害時のトラックの活躍」等を、学生目線でわかりやすい講座を展開しました。その後、実際のトラックを見てもらい、運転席に乗車してもらうことで、トラックへの興味と当業界を知ってもらうきっかけ作りにもなりました。

令和7年9月11日(木)今津サンプリッジホテルにおいて開催された高島市主催の「Work Life Story EXPO 2025」に参加する形で高島高校と安曇川高校の物流出前講座を実施しました。

形式上、実際のトラックを見てもらうことはできませんでしたが、座学を約15分間実施した後、残り時間は生徒の質問に答えました。物流業界の質問に加えて進路の質問等も積極的に行われていました。

グループごとに分かれて1校につき4回実施し、午前中は高島高校で1年生24名、午後は安曇川高校で1年生10名が受講されました。

令和7年12月5日(金)栗東高校において、2年生運送業界就職希望者1名を対象として開催しました。

「トラックについて興味がある」ということで熱心に受講されていました。

また、多くの先生方も一緒に受講していただき、物流業界に対する先生方のイメージも変えることができました。

令和7年12月15日(月)甲南高校において、2年生全員

96名を対象に開催しました。

受講人数が多い為、学生を半分ずつに分け、座学と実車体験を交互に実施しました。

アンケートを通じて「トラック輸送がないと自分たちに荷物が届かないのでとても大切な仕事だと思った。」「自分のやりたい仕事はまだ見つからないが、トラック輸送も視野に入れようと思った。」等の声をいただき、多くの学生から「なくてはならない職業だと実感した。」「やりがいのある良い仕事だと思った。」等の回答がありました。

令和7年12月16日(火)愛知高校において、2年生運送業界就職希望者6名を対象として開催しました。学生自身が就職するにあたって、自ら希望する業界を選択するというスタンスで講座を開催しました。

生徒全員熱心に受講していただき、アンケートを通じて「トラック乗車時にミラーの役割や安全装置、操作方法などが知れて良かった。」「このご時世において大切な仕事だと思った。」等の回答がありました。

受講された学生数は、延べ38校で3,816名となりました。

また、受講者の中から実際に運送会社に就職された学生数は59名にのぼっており、将来の担い手育成に着実な成果をあげています。



12月

年末の交通安全県民運動出動式

12月4日(木)雪氷期間中における交通事故防止に向け、多賀SAにおいて、年末の交通安全県民運動出動式が行われました。

滋賀県高速道路交通警察隊長のご挨拶の後、滋賀県高速道路交通安全協議会理事である滋賀県トラック協会丸山義広副会長が挨拶されました。その後、滋賀県大津市出身のプロドリフトドライバーである深田一希さんが一日高速警察隊長に任命され、一日隊長とともに啓発品を配布し、交通安全を呼びかけました。

滋賀県トラック協会安全環境委員会からは丸山義広副会長を含め、9名参加しました。



12月

「標準的な運賃セミナー」の開催について

適正化事業運営委員会では、トラック運送事業の持続的かつ収益力のある産業として発展していく事を目的として、令和7年12月8日(月)に全日本トラック協会との共催により標準的な運賃活用セミナーを開催し、58名の方が参加されました。

説明会当日は、日本PMIコンサルティング株式会社 小坂 真弘様をお招きし、原価計算や独自運賃表の作成、燃料サーチャージ、適正原価等の解説いただきました。

参加者からは非常に有意義なセミナーであった等のご好評の声を多くいただきました。



標準的な
運賃改定



12月

令和7年度「国会議員懇談会」を開催

滋賀県トラック協会及び滋賀県トラック運送事業政治連盟では、令和7年12月22日(月)ザ・サウザンド京都において、滋賀県選出の国会議員との懇談会を開催いたしました。

当日は、大岡敏孝衆議院議員、上野賢一郎衆議院議員、武村展英衆議院議員、小寺裕雄衆議院議員、小鐘隆史参議院議員の5名が出席。当連盟からは、丸山副会長をはじめ執行部が出席しました。

冒頭、丸山副会長からは2024年問題への対応に苦慮していることや物流事業者の現状と課題等について述べられ、本日の懇談会が有意義な情報交換の場となるようお願いしたいと挨拶をされました。

続いて、事務局より(1)幹線道路の整備促進について(2)運輸事業振興助成補助金の適切な交付について(3)

労働時間等の上限規制等の緩和についての要望3項目の要点を説明。

これらの説明に対し、県内各主要道路の現状

と整備計画について各議員から回答され、運輸事業振興助成補助金の交付に向けた取り組み、労働時間にかかる問題への取り組みについては上野議員を中心に回答いただき、トラック業界の現状を踏まえた課題解決に向けて活発な意見交換が行われました。



1月

1年間の交通安全並びに 商売繁盛、業務繁栄をご祈願



令和8年1月14日(水)多賀大社において新年祈願祭が執り行われました。

滋賀県トラック協会の松田直樹会長をはじめ、副会長、理事、監事、安全環境委員、および各次期予定者と事務局を合わせて72名が参拝し、今年1年間の交通安全並びに商売繁盛、業務繁栄を祈願しました。

次年度協会運営等について理事会を開催

新年祈願祭の後、第414回理事会が開催され、次年度会長基本方針等が決定され、協会の運営方針や当面する諸問題等について審議が行われました。



2月

経営者・管理職研修会 8月/9月/2月

今年度、経営支援委員会では、「災害物流専門家研修」、「過労死等防止対策セミナー～健康起因事故の削減を目指して～」、「プラン2025目標達成セミナー～削減目標達成への取り組み～」というテーマで3回開催し、参加者は延べ、82名となりました。

1回目のテーマは、災害時における対応について

過去の大規模災害時における緊急支援物資輸送では、物流に関する専門的知識を持つスタッフが集積拠点に常駐していないこと等が原因となり、避難所等への円滑な物資の輸送に支障をきたす事例がみられ、課題とされてきました。

このため、滋賀県トラック協会及び全日本トラック協会では、今後想定される地震や台風、豪雨などの大規模災害に備え、自治体が管理する物資集積拠点等において支援物資の仕分け・管理・輸送等を行う専門知識を身につけた「災害物流専門家」の育成を図るとともに、輸送協定等に基づき自治体より協力要請があった際に、災害物流専門家を紹介・派遣できる体制整備にも取り組んでいます。

災害物流専門家候補として倉庫業務や配車業務等の物流実務に精通した従業員様に加え、

オブザーバーとして滋賀県知事公室防災危機管理局および滋賀県健康医療福祉部の方々にもご出席いただきました。

講師として株式会社NX総合研究所のゼネラルマネージャー高橋 巨樹氏およびコンサルタント佐伯 剛氏をお招きし、「災害物流専門家としての基礎知識」や「自治体への対応」について講演いただきました。

その後、グループ演習では3つのグループに分かれ、保管面積の算出や物資拠点レイアウト図の作成が行われ、参加者からは「今後災害があった際に活かしていきたい」とのお声を多くいただきました。

2回目のテーマは、健康起因事故の削減について

第2回は「過労死等防止対策セミナー～健康起因事故の削減を目指して～」というテーマに開催しました。

SOMPORリスクマネジメント株式会社より講師をお招きし、近年、話題になっている過労死及び健康起因事故の防止からドライバーの健康維持に加え、過労死等の根絶を目指した講演が行われました。

その後、グループディスカッションでは5つのグループに分かれ、各社の従業員の健康管理を保つための取組みについて積極的な意見交換が行われ、健康診断の実施方法やその結果の活用等、幅広いテーマで議論が交わされました。

ドライバーの健康状態はトラックの運

転に直結し、安全運行を左右する重要な要素であることから、出席者からは積極的な質問が寄せられました。

3回目のテーマは、交通事故削減の目標設定とその達成に向けて

第3回は「プラン2025目標達成セミナー～削減目標達成への取り組み～」というテーマに開催しました。

SOMPORリスクマネジメント株式会社の柿野拓志氏を講師にお招きし、2025年を目標年とする「トラック事業における総合安全プラン2025」における新たな事故削減目標を達成するために、プランの内容と交差点事故・追突事故の対策を中心に、最新の情報を織り込んだ事故防止対策について解説いただきました。

座学形式で「事業用トラックにおける事故の傾向と防止対策」を学んだ後、グループディスカッションでは、各社の追突事故及び交差点事故の防止に向けた取り組み、課題、目標について積極的な意見交換が行われ、ドライバー教育を含む、幅広いテーマで議論が交わされました。

また今年度は、より一層の「事故防止」「飲酒運転根絶」への取り組みとして、NPO法人いのちのミュージアムの方々にご協力いただき、「生命のメッセージ展」を併催いたしました。飲酒運転での交通事故などにより、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展を通じて、いのちの大切さを改めて感じ、交通事故を防ぐ意識が高まったセミナーとなりました。

2月

トラック適正化二法・下請法改正セミナーの開催

トラック適正化二法および下請法(取適法)の改正は、運送業界に関わる多くの事業者に大きな影響が見込まれることから、改正内容への理解を深め、円滑な実務対応を支援することを目的に、関係各所より講師をお招きしてセミナーを開催いたしました。

当日は、国土交通省、公正取引委員会、および株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティングの担当者様が

講師としてお招きして、令和8年2月26日(木)に琵琶湖マリオットホテルにて開催し、荷主企業様を含め380名が参加されました。

セミナーでは、許可更新制、委託次数の制限、適正原価といった改正の核心に触れる講義が行われ、参加者の皆様は非常に熱心に聴講しておられました。



2月

ドライバー研修会は、ドライバーの交通安全意識の高揚及び運転スキルの向上を目的として開催しています！

4月/5月/6月/7月/10月/11月/2月/3月

滋賀県トラック協会経営支援委員会では、クレフィール湖東交通安全研修所において「ドライバー研修会」を開催しました。

ドライバー研修会は体操や日常点検から始まり、濡れた路面でのフルブレーキ、危機回避等の基礎から学べる通常コース、同内容を大型車で学べる大型コース、交通事故防止について重点を置き、事故惹起者に対して実施が義務付けられている特別教育に置き換えられる特別コース、日常点検やレクチャー、タイヤの空気圧による燃費向上を

体験できるエコドライブコースがあります。

年間を通じて、通常コース3回、大型コース3回、特別コース2回、エコドライブコース2回の合計10回を開催し、計146名の出席者をもって、ドライバーの資質向上へ寄与しました。



2月

防災訓練

令和8年2月6日(金)に、滋賀県防災危機管理局主導のもと、(一社)滋賀県トラック協会と滋賀県倉庫協会の協力で滋賀県総合防災訓練を実施しました。

今回は、湖南地域で震度7を観測したと想定し、関西広域連合から滋賀県庁へ緊急物資輸送の依頼があり、防災対策本部を滋賀県庁に設置し対応しました。

続いて、滋賀県から滋賀県トラック協会及び物資拠点の鴻池運輸(株)滋賀物流センターへ緊急物資の輸送について連絡がありました。そこで滋賀県トラック協会から輸送依頼として、(株)ケイロジより緊急輸送のトラックで、緊急物資を積載し、道路被災情報に従い検討した輸送ルートを示し、緊急物資の輸送先である守山市民体育館へ運行頂きました。



2月

運送会社向け生成AI活用セミナー

広報推進委員会では、令和8年2月16日(月)に「運送会社向け生成AI活用セミナー」を開催いたしました。

昨今の日本企業では「DX(デジタルトランスフォーメーション)」が推進されており、物流業界でも「DX」の重要性が高まっております。

しかしながら物流業界はIT化が遅れていると言われており、会員事業者へ「物流DX」を推進していく為、今年度は「生成AI」に焦点を当てて本研修会を開催いたしました。

株式会社船井総研サプライチェーンコンサルティングの白石哲郎様を講師にお招きし、「Google Gemini」「notebookLM」

「Genspark」を使用しながら安全研修動画の作成や運賃交渉資料の作成等についてご講演いただきました。

61名にご参加いただき、「明日から早速使用してみたくなった」「書類作成や言い回しの修正など苦手分野を補完する技術だと感じた」などご好評いただきました。



各支部の 取り組み



湖北支部

- 交通安全新年祈願祭の実施
- 春と秋の長浜市交通安全パレード・啓発活動に「参加団体」として取り組み
- 労務研修会の開催
- 健康に関する研修会の開催
- クリーンアップ(琵琶湖岸道路のゴミ拾い)活動の実施
- 親睦ゴルフの開催

湖西支部

- 視察研修の実施
- 健康講座の開催
- さまざまな研修会の開催



彦根支部

- 交通安全新年祈願祭の実施
- トラック業界における人材確保の研修会
- これからの時代に応じた彦根支部としての取組の会議強化
- 健康講座の開催
- 点呼セミナー2025の支部開催
- 交通安全等の啓発活動への参加

湖東支部

- 東近江地区交通安全推進会議調整部会への参画(各種交通安全啓発活動への取り組み)
- 東近江地域特定家畜伝染病対策への参画
- 健康講座(健康経営への推進)実施
- 東近江防災訓練への参画
- 支部独自の健康診断受診助成事業への取り組み
- 支部ゴルフコンペ開催(8月、11月、3月)
- 実務者研修会実施(8月)

甲賀支部

- さまざまな問題に関する研修会の開催
- 配車交流会の開催
- 交通安全等の啓発活動への参加
- 親睦ゴルフの開催
- 視察研修の実施

大津支部

- 新名神大津スマートIC(仮称)利活用等地域活性化委員会の「委員」を継続して受嘱
- 大津市総合防災訓練への参加と、災害時緊急輸送への協力(協定締結済)
- 業界を取り巻くさまざまな諸課題に対する研修会や勉強会の開催
- 大地協力会(親睦ゴルフ)の開催



湖南支部

- 優良事業所支部長表彰の実施
- 経営の骨法等に関する研修会の開催
- 親睦ゴルフの開催
- ボウリング大会の開催
- 求人及び人材採用判断に関する研修会の開催
- 事業継続力強化計画に関する研修会の開催



滋賀県トラック協会



滋賀県トラック協会
公式 Instagram



滋賀県トラック
青年協議会



滋賀県トラック
女子部会

おうみ路 令和7年度

発行日/令和8年3月31日

発行/(一社)滋賀県トラック協会

〒524-0104 滋賀県守山市木浜町2298番地の4

TEL.(077)585-8080